

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年3月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで61年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2024年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年3月度ギャラクシー賞月間賞

NHKスペシャル「語れなかったあの日 自治体職員たちの3.11」

3月10日放送 21:00~21:55 日本放送協会

東日本大震災で被災地の最前線に立って災害対応にあたった宮城県の自治体職員たちが当時を振り返って語る。自らも被災しながらさまざまな立場・職務・現場で経験したこと、思い出すのもつらいことを、言葉をつまらせながら語る様子は胸が痛む。時間がたって初めて口にできた現実。こうした聞き取り調査「災害エスノグラフィー」が次の災害時に役立つという意義も示した。

世界の春日プロジェクト

3月26日放送 21:00~21:50 日本放送協会

オードリーの春日俊彰が、1年前から密かに英会話の特訓を始め、ついにはハリウッドでの売り込みまで一人でこなすようになる。気後れする、自信がない、とりあえず静観するなど日本人が英会話実践を苦手に感じ挫折する数々の欠点を、春日の強気な芸風が補っていることがよくわかる。この番組から生まれた半年間の講座番組にも期待したい。

金曜ドラマ「不適切にもほどがある！」

1月26日~3月29日放送 22:00~22:54 TBSテレビ、TBSスパークル

昭和から令和へと時間をかけてアップデートされてきたナーバスな問題や価値観を、両時代からの複眼で見つめ直してコメディに昇華した怪作。笑うに笑えない課題を笑いの場に引きずり出し、クドカン流の言語化で提示する荒業は毎回スリリングだった。「寛容になりましょう」という呼びかけの行方を見届けたい。

NHKスペシャル 未解決事件 File.10「下山事件 第1部 第2部」

3月30日放送 19:30~20:50 22:00~22:55 日本放送協会

「戦後史最大の謎」とされる下山事件。番組は、知られざる捜査の内幕を綴った極秘資料と膨大な数の検察捜査記録を入手、第1部はドラマ、第2部はドキュメンタリーでその謎に挑んだ。緻密な調査に裏付けられた重厚かつ緊張感のあるストーリーと、東京地検の布施検事を演じた森山未来の凄みある演技に釘付けになった。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年6月号に掲載します